

女性研究者研究活動支援事業（一般型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：福岡女子大学（総括責任者：梶山 千里）

プロジェクトの概要

(1)支援室の体制と具体的な活動内容

- ①体制:特任教員1名と支援室業務担当事務職員1名及び研究活動支援者5～10名
- ②具体的な活動内容
 - 女性研究者や学生に対するカウンセリング・相談業務
 - 学部生や大学院生を対象とした女性研究者ロールモデルに関するセミナーの企画と開催
 - 女性研究者の外部資金獲得セミナーの企画・開催
 - 女性研究者の環境整備に向けた調査・分析、それに応える方針・企画の立案
 - 近隣先駆大学との連携
 - 男女共同参画社会に対する意識調査・分析とそれに対する方針立案
 - 女性学関連授業の企画、運用

(2)研究を支援する者の配置計画

学部生及び大学院生より、5～10名程度を事前登録制により配置

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	b	a	a	a	b

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

学長のトップダウンにより、女性教員の上位職（教授・准教授）や執行部への登用、国際的に活躍できる女性研究者の育成に取り組み、教授職の女性比率の向上、女性副学長や女性研究科長の誕生などに繋げたことは、評価できる。また、短期海外派遣研修、外部資金獲得セミナーやロールモデル・セミナーの開催等により、女性研究者の研究力向上は着実に進んだが、女性研究者の裾野拡大に向けた取組は期待された成果が十分上がっているとは言い難く、今後の展開を期待する。

- ・**目標達成度**：女性教員の採用比率、女性教授数、女性役職者数に係る所期の目標を達成したことは評価できる。しかしながら、女性研究者の外部資金獲得者割合、女子学生の大学院進学率に係る目標は達成できておらず、目標未達の原因分析を十分に行い、今後の改善策を立案する

ことを期待する。

- **取組**：女性研究者の高いニーズを踏まえ、一時保育制度や研究支援者制度を創設し、学長主導で、女性研究者の研究力向上を目的とした女性短期海外派遣研修制度を創設するとともに、女性の役職者数を積極的に増加させたことは評価できる。さらに、女子学生の大学院への進学促進を目的として、大学院進学セミナーや進学相談の開催を行ったことも評価できる。
- **取組の成果**：女性教員の採用比率が目標を上回り 50%を超え、また、女性短期海外派遣研修制度の利用者 1 名を含め女性教授数が増加したことは評価できる。さらに、女性の役職者数が倍増し、機関運営を牽引する女性研究者の育成が進んだことも評価できる。
- **実施体制**：学長直轄の組織として、副学長を室長とし創設された「女性研究者支援室」が、既存の学内組織である地域連携センターや国際化推進センターと連携し、様々な取組を効果的に実施したことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後、「女性研究者支援室」は地域連携センター女性生涯学習研究部門の「女性研究者支援事業」として位置付けられ、事業は継続して実施されているが、「女性研究者支援事業」を担う人員と資金計画は、ともに大きく縮小されており、これまでの取組の継続性や発展性が懸念される。今後は、機関としての方針を明確にした上で、取組の継続性や発展性を担保することを期待する。